

# オオモンハタの種苗生産

水産技術開発センター 栽培養殖部

養殖業者による赤潮・疾病対策や輸出を含めた経営多角化の実現には、新たな養殖対象魚の導入が必要である。このため、平成23年度から養殖魚種多様化技術開発事業によりオオモンハタ(ハタ類)の種苗生産技術開発を行っている。

## オオモンハタの概要

- 1) 種名: オオモンハタ (*Epinephelus areolatus*)
- 2) 分類: 硬骨魚綱, スズキ目, ハタ科, マハタ属
- 3) 分布: 西日本太平洋沿岸域～琉球列島～西太平洋～インド洋, 紅海
- 4) 生息: 沿岸域浅所の岩礁域, 浅所～深所の珊瑚礁域
- 5) 地方名: 鹿児島(モアラ, モウオ, シルネバリ)
- 6) 特徴:
  - ・大きさは、成魚で全長40cm前後。
  - ・体や鰭に黄褐色か褐色の円斑がちらばり、やや網目模様になる。
  - ・円斑は成長とともに数を増やしていく。
  - ・尾鰭後縁が、白く縁取られる。



## 種苗生産試験の概要

センターで飼育中のオオモンハタ親魚から採卵し、6月25日から種苗生産試験を開始。およそ60日で約6センチの稚魚を生産できた。

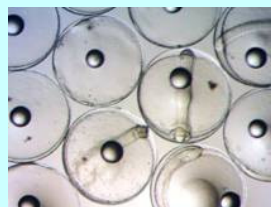
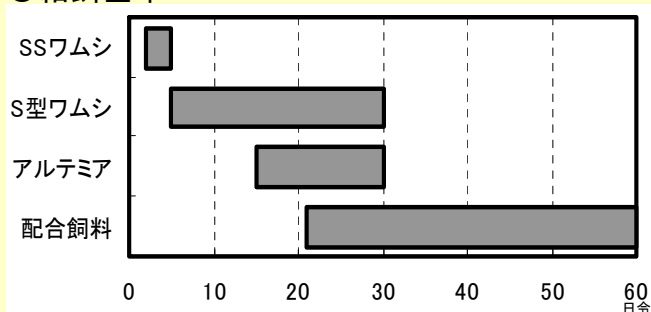


飼育水層

### ○飼育基準

水槽: 20klコンクリート製円形水槽  
注水: 紫外線殺菌処理海水(調温)  
換水: 0.5回転/日 → 4回転/日(一部止水飼育)  
通気: 0.5L/分(2カ所) + 酸素添加  
照明: 天井灯 + 水槽上部蛍光灯(80W × 4基)  
(24時間点灯, 日齢2~17)  
飼育水添加: ナンクロロプシス (50万細胞/ml)

### ○給餌基準



受精卵(卵径0.7mm)



ふ化仔魚(全長1.5mm)



稚魚(64日令) 約6cm



仔魚(10日令)